

土壌診断依頼書

株式会社つくば分析センター

担当 ()宛

※太線内をご記入下さい

| | | | |
|---------|--|-------|---|
| フリガナ | | TEL | |
| 団体名 | | FAX | |
| フリガナ | | 携帯 | |
| 担当者名 | 様 | 部署名 | |
| メールアドレス | | | |
| 住所 | 〒 | | |
| 到着予定日 | 20 年 月 日着 | 輸送方法 | <input type="checkbox"/> 宅配便 <input type="checkbox"/> 郵便 <input type="checkbox"/> 持込 <small>お急ぎの方はヤマト運輸をご利用下さい</small> |
| ご請求方法 | <input type="checkbox"/> 報告日締め (報告時にご請求) <input type="checkbox"/> 月末締め (月末一括でご請求) | 報告書速報 | <input type="checkbox"/> FAX で速報 <input type="checkbox"/> 速報不要 <input type="checkbox"/> E-Mail で速報 <small>※どれか一つお選び下さい</small> |

| No. | 圃場名 | 試験項目 | 土壌の状態 |
|-----|-----|--|---|
| 1 | | <input type="checkbox"/> 土壌診断 11 項目基本セット <input type="checkbox"/> 土壌診断 13 項目水田用 | 風乾作業 <input type="checkbox"/> 済み <input type="checkbox"/> 未 ふるい掛け <input type="checkbox"/> 済み <input type="checkbox"/> 未 |

《土壌の取り方》

1. 採取場所及び採取量

図のように圃場の5箇所から土壌を同量になるように採取し、風乾後それらを良く混合したものを1検体とし、その中の200gを送付して下さい。

土壌はビニール袋(ジッパー付)に入れ、油性マジックで名前・圃場名を記入して下さい。

2. 採取部位および方法

表土の2~3cmを払い除け、その下の深さ20cmまでの土壌全体を採取します。採取するときに図のようにV字に20cm程掘り下げ、斜線の部分を移植ごて等で一定の厚さになるように掘り取ります。

3. 果樹、茶園などの場合

平均的な樹 5.6 本について樹冠から 30cm内側の 2,3 か所を採取します。永年生作物の活性根は 20 から 40cm に多く分布するので作土部だけでなく、この部位も採取して下さい。

4. 水田土壌の場合

水田土壌はトラクターがかけられる程度に土が乾燥したときに採取してください。ぬかるんだ状態では均一に混合することは難しく、風乾にも多くの時間がかかります。

5. 風乾細土にする方法

土壌の風乾は風通しの良い日陰で新聞紙の上などに土を広げて乾燥させてください。直射日光に当てたり、高温にしますと分析値が変わる可能性があります。乾燥させた土壌を 2mm 程度のふるいに通した土壌をビニール袋に入れてお送りください。

対角線採土法(畑、水田、ハウス)

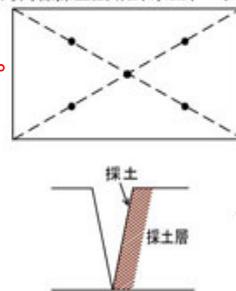


図 土の取り方

【注意事項】

- 試験及び証明書の発行は株式会社川田研究所(計量証明事業所)が行います。
- 採土器は、ステンレス、プラスチック、木へらなど土壌分析に影響のないものを用い、サビたスコップなどは使用しないで下さい。
- 肥料の粒が採取土壌に混入すると、正確な測定結果が得られなくなります。
- 水分量の多い土壌や篩い掛けしていない土壌をお送りいただいた場合は、試料調製費として1検体につき別途 500 円(税別)をいただきますのでご了承ください。**

必ず別紙の『土壌診断調査票』もご記入下さい

* 弊社記入欄

| | |
|--------|-----|
| 報告予定日 | 受付印 |
| 月 日 | |
| 検査料金 | |
| 円 税別 | |
| 受付担当 : | |

《検体送付先》

株式会社つくば分析センター

〒305-0047

茨城県つくば市千現 2-1-6

つくば研究支援センター D-30

TEL:029-858-3100 / FAX:029-858-3106

